

米町 社協だより

2024.1.15 No.52



発行
小倉中央校区米町社会福祉協議会
小倉中央校区米町自治連合会
会長 肝付太郎
編集
米町社協広報部会

合同会議と専門部活動を より強化し全員で取り組む

自治連合会・社会福祉協議会 会長 肝付 太郎



新年あけまして
おめでとうございます

穏やかな新年をお迎えのことと
思います。

昨年は、諸活動に協力を頂
きありがとうございました。本
年もよろしくお願ひいたします。

昨年を振り返りますと、五
月の連休明けに、コロナ感染
症が五類に移行となりまし
た。

その後の事業については、
祇園祭、夏祭り、敬老会、環

境バス研修、年末の研修懇親
会等については、内容を見直
し、全ての事業を実施するこ
とが出来ました、

特に、第二回「米町ちゅう
ぎん通り太鼓広場」では、コ
ロナ感染で希薄となつた地域
コミュニティの再構築、自治
会の次世代を担う若き人材の
育成、小倉都心部のにぎわい
づくり等について、良い変化
を感じました。

これからは、今までの日常
生活を取り戻し、これまでの
地域活動が実施出来る状況に
なりました。
この様な環境の中で、米町

地区の今後の活動について
は、現在取り組んでいます、
一、町内会長、社協理事によ
る合同会議の充実
一、社協構成員による専門部
会活動の充実

この二本の柱を更に強化し
て、全員で取り組むことが重
要であります。

最近、米町地区内を見てみ
ますと、少子・高齢化社会が
すすみ、また、隣人との付き
合いが希薄になってきている
今日、町内会の役割は、ます
ます重要になつてきていま
す。

地域に住む方々が安心して
快適な暮らしが出来るよう
に、本年も米町地区の重点目
標である「安全・安心のまち
づくり」に全員で取り組み、
『米町に住んで良かった』と
言える『まち』を目指して頑
張りましょう。

6ページの「敬老会」と、
7ページの「オリンピック大
会」は写真で紹介。8ページ
は「年末研修懇親会」と「環
境工コバス研修」を掲載。
ご協力ありがとうございます。

安全・安心の「まちづくり」

52号記事紹介



「米町」に住んで良かつた



米町ちゅうぎん通り太鼓広場 今年度は「廻り祇園」にチャレンジ

四年ぶりの通常開催となつた小倉祇園太鼓で、今年も『米町ちゅうぎん通り太鼓広場』を開催しました。第二回目の今回は、引き綱で山車を曳く『廻り祇園』にチャレンジし、十五基の山車が、小倉ちゅうぎん通りをにぎやかに、きらびやか彩りました。

7月
16日



観客が太鼓を体験する『おもてなし太鼓』には、外国人の参加も多く見られ、国際色豊かに盛り上がりまし

た。
来年も開催したいと思つていますので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願ひいたします。

米町ちゅうぎん通り
太鼓広場実行委員会
事務局長
新井 章太



浅野救急隊長・小田茂史さんによる応急救護訓練の講習



9月
2日

防災訓練を実施

九月二日（土）午前九時～十二時、台風による風水害・高潮・浸水・線状降水帯を想定した防災訓練を行いました。

肝付会長から午前九時に緊急連絡が、各ブロック及び町内会にあり、防災訓練が開始され、十七町内会・百十九名が参加さ

しました。（3ページ下段へ続く）



米町SC連合会チーム

赤いユニフォーム躍動

Cチームが4位・5位に入賞

11月
30日

十一月三十日（木）北九州市立総合体育館で第二〇回小倉北区SC連合会体育大会が開催されました。米町SC連合会からも四チーム十二名が参加出場しました。コロナの関係で四年振りの開会でしたが、各種目とも熱気を帶びて白熱の競技が展開されました。

競技はペタンク、ビーンボウリング、クロリティーの三種目で、各地区から選ばれた四十数チームで競いました。米町の四チームもチームワーク良く大健闘し、米町Cチームがペタンクで四位、ビーンボウリングで五位と入賞しました。米町チームの赤いユニフォームが、寒さを吹き飛ばし、躍動した一日でした。



ビーンボウリング入賞の一投



入賞のCチーム





(2ページより続く)

緊急連絡網の機能向上を
紙ベースから携帯スマホへ

緊急連絡網の機能と点検の検証については、スマホ（アプリ）ラインと同じ様な機能のエルガナ（elgana）での利用申し込みから、メンバー登録・グループ制定で、紙ベースから携帯スマホへの緊急連絡網への作成が進行中です。

町内会長・社協理事の方は、小倉中央市民センターでエルガナ（アプリ）の登録の協力をお願いします。（館長に登録の仕方をお聞きください）

（安全・環境部会より）

各地区ごとの避難訓練を終え、午前十時から小倉中央市民センターで、ADEでの応急救護訓練の講習があり十五名が参加しました。

「熱中症についての対策について」と心肺蘇生法の講義が行われました。

地域とともに歩んだ小倉幼稚園

130年を超える歴史と 1万8千人を超える修了生



その後、室町四丁目に移転し、室町尋常小学校の附属園『堺町立小倉幼稚園』となりました。明治の終わりには、堺町第二小学校の跡地に移転し、小倉市立幼稚園として独立した園となり、現在まで幼児教育の歴史を紡いできました。

園の行事は母の会、のちに後援会として「期成会」の役員の方々に支えられ、昭和初期の園舎の改築等は、後援会のご尽力があつたということです。

明治時代に、幼児教育の必要性を強く感じた小倉の偉人「杉山貞」をはじめとする企救郡小倉堺町の名士の方々が発起人となり、明治二十三年四月「西蓮寺」を仮校舎とし、開園されました。

北九州市立小倉幼稚園は、令和元年に創立百三十周年を迎えた歴史と伝統のある幼稚園です。地域の多くの方々から、「私も卒園生です」「親子でお世話になりました」「前の園舎時の卒園生です」と声をかけていただくほど、多くの子どもたちを送り出している地域と共に歩んできた幼稚園です。園に残る修了生台帳の番号をみると、一万八千人を超える修了生の数に驚かされます。

小倉幼稚園の歴史



昭和・堺町時代のなつかしい木造園舎

先日、小倉中央市民セン

本の厳しかった時代にも、幼児教育の歩みを止めずに子どもたちを教育してきたことがらうかがうことができます。さらに、昭和四十六年に小倉幼稚園は移転していま

小倉幼稚園は、令和七年三月をもって閉園しますが、北九州市の幼児教育は、北九州

幼稚園設立の際の、「設立趣意書」が残されています。その文言には、『植物の發芽と成長には土と肥料が大切、その根っこを育てる時期が幼児期』と記されています。

人間としての成長の芽生えの時期を大切にという先人の思いをつなぎ、明るい未来を生きる子どもたちを地域全体で見守っていくことを祈念しています。

小倉幼稚園

◎ ○ 園長 森友 由季子

小倉幼稚園が令和七年三月

家庭教育学級の一環で後援会のおうちの方がお菓子釣りのお店を出したりと現在でも地域と連携しています。

このように、昔



≪在園児の声≫

- 桜の木の落ち葉で落ち葉シャワーをしたり、お面をつくりできる。
- くま組ガーデンには、虫がいっぱいいくるので、観察が楽しい。
- きりん組（年中）とくま組（年長）で、積み木を使って動物園をつくって招待しあつたのが楽しかった。
- 友だちや先生と園庭のお花や実を使って、色水ジュースやさんをしたり、砂場で山や水の通り道を作る遊びがとってもとっても楽しい。



小倉幼稚園が令和七年三月



小倉中央市民センター 文化祭が盛況！

11月4・5日

十一月四日（土）・五日（日）、小倉中央市民センター文化祭が開催されました。センタークラブの展示・ステージ発表、四年ぶりにびっくりカレー、米町婦人会物品バザーも復活して活気あふれる文化祭となり大いに盛り上りました。

ご参加、ご協力いただきいた皆さまに心からお礼申し上げます。

小倉中央市民センター
館長 財前真由美

婦人会も バザーで一役



米町
婦人
連合会



長浜1号公園の「すべり台」が新しくなりました



末に閉園になると聞き、園長に幼稚園の歴史などを聞き、森友
いていただきました。

そして、昭和の二十
年代の戦中、戦後、日
ターマツリがあり、小倉幼稚
園の年長くま組の有志による
ダンスステージを行つたり、
明治時

代、小倉

ます。

令和5年度 米町ふれあい敬老会

ご長寿おめでとう！90歳以上の皆さん



藤 盛男さん



浦濱 守さん



原田 朗さん



小川道子さん



丹村富士子さん



政徳ヨシさん



安田昭五さん



岡本美智子さん



9月
24日



第32回三世代ふれあいオリンピック大会

小倉中央
小学校
体育館

雨の中！熱氣溢れる大会に

10月
8日

四世代も参加？

子ども綱引き？

さあ元気よく準備体操



特賞

大当たり

パン食いイロイロ



米町社会福祉協議会研修会

「地域を支える ふれあいネットワーク」

講師 小倉北区
社会福祉協議会 島田直樹 事務所長

12月4日(月)
リーガロイヤル
ホテル4階にて
参加者 39名



護保険、困窮者支援制度、
生活保護などがあります
が、そのような制度や公
的サービスだけでは人は
幸せにはなりません。

今、地域には「一人暮
らしで体調が悪くなつた
ら心配だ」「年をとつて
ゴミ出しができなくなつた」「地
震が起きた時どこに避難したらい
いのだろう」などたくさんの困り
ごとや不安を抱えた人がいます。

ふれあいネットワーク活動で、
地域で困りごとを抱える人を早期
に発見し、支援するために「見守
り」「助け合い」「話し合い」の三
つの仕組みがあります。いつまで
も、健康で、仲良く、「みんなが
安心して暮らせる
支え合いのまちづ
くり」に向け、「あ
いさつは支え合い
の第一歩」「困つ
たときはお互いさ
ま」「できる人が、
できることを、少
しづつ」の精神で
これからもご協力
をお願いします。

地域福祉活動とは、ふだんのくら
しのしあわせを、みんなで支え合う
活動です。

米町社会福祉協議会のふれあい
ネットワーク活動が始まつて今年で
二十五年になります。北九州市でも、
少子高齢化や人口減少、住民同士の
つながりの希薄化、生活様式の多様
化など、社会状況は大きく変化して
います。

1965年には六十五歳以上の高
齢者一人を九人で支えていた形式
が、2050年には一人で一人を支
えなくてはならなくなると予想され
ています。超・少子高齢化社会で、
安心して暮らしていくために社会保
障改革により、支え手を少しでも増
やす努力が必要です。医療保健や介
した。(編集委員)

講演をまとめま
さ



テキストを見ながら講話を聞く出席者

護保険、困窮者支援制度、
生活保護などがあります
が、そのような制度や公
的サービスだけでは人は
幸せにはなりません。

今、地域には「一人暮
らしで体調が悪くなつた
ら心配だ」「年をとつて
ゴミ出しができなくなつた」「地
震が起きた時どこに避難したらい
いのだろう」などたくさんの困り
ごとや不安を抱えた人がいます。

ふれあいネットワーク活動で、
地域で困りごとを抱える人を早期
に発見し、支援するために「見守
り」「助け合い」「話し合い」の三
つの仕組みがあります。いつまで
も、健康で、仲良く、「みんなが
安心して暮らせる
支え合いのまちづ
くり」に向け、「あ
いさつは支え合い
の第一歩」「困つ
たときはお互いさ
ま」「できる人が、
できることを、少
しづつ」の精神で
これからもご協力
をお願いします。

地域福祉活動とは、ふだんのくら
しのしあわせを、みんなで支え合う
活動です。

米町社会福祉協議会のふれあい
ネットワーク活動が始まつて今年で
二十五年になります。北九州市でも、
少子高齢化や人口減少、住民同士の
つながりの希薄化、生活様式の多様
化など、社会状況は大きく変化して
います。

1965年には六十五歳以上の高
齢者一人を九人で支えていた形式
が、2050年には一人で一人を支
えなくてはならなくなると予想され
ています。超・少子高齢化社会で、
安心して暮らしていくために社会保
障改革により、支え手を少しでも増
やす努力が必要です。医療保健や介
した。(編集委員)

日帰り研修の旅

十月二十二日
(日) 環境研修エコ
ツアーを参加者二十五名

で実施しました。秋晴れ
の晴天に恵まれた一日で
した。

今回の研修場所は、

さの汐風公園と山口県萩
市の萩エコプラザ(リサ
イクルセンター)を訪れ
ました。萩リサイクルセ
ンターでは、リサイクル
市の開催(食器・本・衣
類・家具等)、特に小学
生の制服・体操服・ラン
ドセルなどが必要な方へ
販売されています。

毎回恒例のバス中での
環境エコクイズは、残念
ながら全問正解者はいま
せんでした。

エコツアーは、環境・
エネルギー施設及び企
業、廃棄物処理施
設・水処理施設、リ
サイクル施設及び工
業関連交通機関な
ど、幅広く環境や工
業について学ぶこと
が出来ます。

次回の環境研修工
コツアーは令和六年
二月二十五日(日)
に予定しています。

(安全・環境部会)

即売品を物色
2023/10/22



山口ワイナリーで一休み
2023/10/22



日帰り研修の旅

十月二十二日
(日) 環境研修エコ
ツアーを参加者二十五名

で実施しました。秋晴れ
の晴天に恵まれた一日で
した。

今回の研修場所は、

さの汐風公園と山口県萩
市の萩エコプラザ(リサ
イクルセンター)を訪れ
ました。萩リサイクルセ
ンターでは、リサイクル
市の開催(食器・本・衣
類・家具等)、特に小学
生の制服・体操服・ラン
ドセルなどが必要な方へ
販売されています。

毎回恒例のバス中での
環境エコクイズは、残念
ながら全問正解者はいま
せんでした。

エコツアーは、環境・
エネルギー施設及び企
業、廃棄物処理施
設・水処理施設、リ
サイクル施設及び工
業関連交通機関な
ど、幅広く環境や工
業について学ぶこと
が出来ます。

次回の環境研修工
コツアーは令和六年
二月二十五日(日)
に予定しています。

(安全・環境部会)

即売品を物色
2023/10/22



山口ワイナリーで一休み
2023/10/22